

# 令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 16

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	火葬施設整備事業		担当部署	市民部 美化センター		
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-さわやかな生活環境を保全する-環境美化の推進					▼
対象	赤穂市斎場					
手段(方法)	定期点検や施設整備を計画的に実施する					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	火葬施設の定期点検を行い、この点検結果に基づいた計画的な施設の整備・補修を実施し、予防保全を図ることによって施設の故障に起因して斎場業務が停止するといった事態を回避し、円滑な業務の遂行に資する					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	赤穂市斎場及び葬祭事業に関する条例					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	計画的な施設の整備・補修を行い、安定した葬祭業務を図る					
単年度目標(達成状況)	30年度実績	定期点検や施設整備を計画的に実施した			達成状況	100 %
	元年度実績	定期点検や施設整備を計画的に実施した			達成状況	100 %
	2年度計画	定期点検や施設整備を計画的に実施する			達成状況	- %
	2年度実績	定期点検や施設整備を計画的に実施した			達成状況	100 %
	3年度計画	定期点検や施設整備を計画的に実施する			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)		目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
細事業又は実施内容			1	1	1	1	1
施設等整備							
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算	
斎場等整備		7,684,200	5,330,000	5,000,000	4,565,000	4,900,000	
火葬炉施設修繕		2,322,000	5,330,000	5,000,000	4,565,000	4,900,000	
空調機改修		4,525,200					
地下タンク油面計設置		837,000					
財源内訳	国県支出金						
	地方債	4,000,000					
	その他						
	一般財源	3,684,200	5,330,000	5,000,000	4,565,000	4,900,000	
直接事業費 総額		7,684,200	5,330,000	5,000,000	4,565,000	4,900,000	
人件費:人日数	一般職員:人日数	12	12	12	12	12	
	技能職員:人日数						
	臨時職員:人日数						
人件費 総額		228,000	228,000	224,400	224,400	224,400	
総事業費 計		7,912,200	5,558,000	5,224,400	4,789,400	5,124,400	
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	元年度 1～3号炉、動物炉耐火材補修、棺運搬台オーバーホール外、通風設備排気ファンオーバーホール(1系列)外 2年度 1・4号炉、動物炉耐火材修繕、収骨台車オーバーホール、排気ファンオーバーホール(3系列)					
	2年度予算と3年度予算の比較	2年度 1・4号炉、動物炉耐火材補修、炉内台車修繕、通風設備排気ファンオーバーホール(3系列) 3年度 1～3号炉、炉内台車耐火材補修、1号炉金物材修繕、通風設備排気ファンオーバーホール(4系列)					

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	毎年、定期点検に基づく施設整備を実施しているところであるが、施設の長寿命化を検討する必要がある
市民のニーズ・満足度	
連携事業	斎場施設運営管理業務(美化センター)
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	本事業の実施によって円滑に火葬業務を遂行することができた 引き続き、施設の適切な維持管理に努める
次年度予算への見直し方針	—
関連部課等との協議状況	年次別整備計画
関連部課	財政課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	定期点検に基づく施設整備を毎年実施しているところであるが、施設の更なる長寿命化を計画、実施する
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 安定かつ効率的な施設運営を推進するため、計画的な施設整備を実施する
	4年度以降の展開方針 安定かつ効率的な施設運営を推進するため、施設の更なる長寿命化を計画しこれに基づく計画的な施設整備を実施する
部長の確認所見	継続して計画的な施設整備を実施し、円滑な火葬業務の執行に努めること

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 17

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	管理施設整備事業		担当部署	市民部 美化センター		
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみ処理施設の整備					▼
対象	ごみ処理施設					
手段(方法)	美化センターの場内施設整備を計画的に実施する					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	場内施設整備を計画的に実施することにより、安定したごみ処理業務を行うとともに、来場者の利便性の向上と構内の事故防止を図る					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	①廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ②赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	計画的な施設の整備・補修を行い、安定した施設の運営を図る					
単年度目標(達成状況)	30年度実績	施設整備を計画的に実施した			達成状況	100 %
	元年度実績	施設整備を計画的に実施した			達成状況	100 %
	2年度計画	施設整備を計画的に実施する			達成状況	- %
	2年度実績	施設整備を計画的に実施した			達成状況	100 %
	3年度計画	予算皆減のため施設整備を見送る			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
管理施設整備		1	1	1	1	—
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
管理施設整備		1,139,400	20,655,800	400,000	398,200	0
場内整備		1,139,400	20,655,800			
現場事務所・作業員詰所整備				400,000	398,200	
財源内訳	国県支出金					
	地方債		15,400,000			
	その他					
	一般財源	1,139,400	5,255,800	400,000	398,200	
直接事業費総額		1,139,400	20,655,800	400,000	398,200	0
人件費:人日数	一般職員:人日数	4	4	4	4	
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		76,000	76,000	74,800	74,800	0
総事業費計		1,215,400	20,731,800	474,800	473,000	0
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	元年度 ストックヤード整備工事 2年度 現場作業員待機室空調機更新工事				
	2年度予算と3年度予算の比較	2年度 現場作業員待機室空調機更新工事 3年度 事業予算なし(皆減)				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	場内安全施設の不備により、場内を走行する車両の安全確認が不完全である。また、場内の各施設に不慣れな方が来場された際に迷走されることが多々ある。
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	本事業の実施によって円滑な施設運営を図ることができた 引き続き、施設の適切な維持管理に努める
次年度予算への見直し方針	—
関連部課等との協議状況	管理施設整備事業計画
関連部課	財政課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼ 場内ごみ処理作業効率と安全性の確保のため、施設整備を推進する 案内看板、路面標示については、来場者の円滑かつ安全な施設利用のため実施する
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 事業予算皆減のため施設整備を見送る
	4年度以降の展開方針 安定かつ効率的な施設運営を推進するため、計画的な施設整備を実施する
部長の確認所見	継続して計画的な施設整備を実施し、円滑な施設運営に努めること

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 18

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	清掃車両等整備事業	担当部署	市民部 美化センター			
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみ処理施設の整備					▼
対象	清掃車両等					
手段(方法)	老朽化した既存ごみ収集車両等の更新整備					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	円滑なごみ収集業務に資するため計画的かつ適切な車両の更新整備を実施する					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	①廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ②赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	計画的な車両の更新整備により、円滑な収集業務等の遂行を図る					
単年度目標(達成状況)	30年度実績	適切な車両管理を行い、計画的な車両更新を実施した			達成状況	100 %
	元年度実績	適切な車両管理を行い、計画的な車両更新を実施した			達成状況	100 %
	2年度計画	適切な車両管理を行い、計画的な車両更新を実施する			達成状況	- %
	2年度実績	適切な車両管理を行い、計画的な車両更新を実施した			達成状況	100 %
	3年度計画	適切な車両管理を行い、計画的な車両更新を実施する			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
清掃車両等整備		2	1	2	2	2
ごみ収集車整備台数		1	1	1	1	2
バックホウ整備台数		1				
ホイールローダ整備台数				1	1	
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
清掃車両等整備		15,613,681	7,290,879	12,056,325	11,997,935	25,400,000
ごみ収集車整備		6,242,400	6,919,000	7,190,000	7,150,000	24,456,000
バックホウ(0.5m3)整備		8,996,400				
ホイールローダ整備				4,500,000	4,482,500	
無線機更新		313,200	319,000	319,000	319,000	638,000
諸経費		61,681	52,879	47,325	46,435	306,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債	11,400,000	5,100,000	10,100,000	8,700,000	18,300,000
	その他					
	一般財源	4,213,681	2,190,879	3,900,000	3,297,935	7,100,000
直接事業費総額		15,613,681	7,290,879	14,000,000	11,997,935	25,400,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	1	1	1	1	1
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		19,000	19,000	18,700	18,700	18,700
総事業費計		15,632,681	7,309,879	14,018,700	12,016,635	25,418,700
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	更新車両の種類と台数が異なるため				
	2年度予算と3年度予算の比較	更新車両の種類が異なるため				

**3 事務事業に関する自己診断(CHECK)**

事務事業遂行上の課題	適切な車輛管理により使用年数の延長を図りながら、計画的な更新整備を行う必要がある		
市民のニーズ・満足度			
連携事業			
関連事業			
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり		
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業		
手段の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 3 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある		
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )		
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている		
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		

**4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)**

事務事業実施による成果と課題	引き続き適切な車輛管理に努めるとともに、計画的な更新整備を実施する必要がある		
次年度予算への見直し方針	-		
関連部課等との協議状況	清掃車輛等整備計画		
関連部課	財政課		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	引き続き、適切な車輛管理により使用年数の延長を図りながら、計画的な更新整備を行う		

**5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)**

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	3年度の取り組み方針	適切な車輛管理に努め、日常業務に支障を来さないよう計画的な更新整備を図る	
	4年度以降の展開方針	適切な車輛管理に努め、日常業務に支障を来さないよう計画的な更新整備を図る	

部長の確認所見	業務に支障を来さないよう、適切な車輛管理と更新整備を図ること
---------	--------------------------------

# 令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 19

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	ごみ処理施設整備事業	担当部署	市民部 美化センター			
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみ処理施設の整備					▼
対象	ごみ処理施設(焼却施設、粗大ごみ処理施設、リサイクル施設)					
手段(方法)	ごみ処理施設の定期点検や施設整備を計画的に実施する					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	定期点検や施設整備を計画的に実施することにより、適正かつ円滑な廃棄物処理を行うとともに施設の延命化を図る					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	①廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ②赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	計画的な施設整備を実施し、安定した施設運営を行う					
単年度目標(達成状況)	30年度実績	定期点検、施設整備を適切に実施した			達成状況	100 %
	元年度実績	定期点検、施設整備を適切に実施した			達成状況	100 %
	2年度計画	定期点検、施設整備を適切に実施する			達成状況	- %
	2年度実績	定期点検、施設整備を適切に実施した			達成状況	100 %
	3年度計画	定期点検、施設整備を適切に実施する			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)		目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
細事業又は実施内容			1	1	1	1	1
ごみ処理施設整備							
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算	
ごみ処理施設整備		108,104,976	117,561,102	123,000,000	122,446,500	167,000,000	
ごみ処理施設整備		108,104,976	117,561,102	123,000,000	122,446,500	157,000,000	
施設精密機能診断、大規模改修工事発注支援業務						10,000,000	
財源内訳	国県支出金						
	地方債	58,800,000	71,600,000	70,900,000	70,700,000	107,400,000	
	その他						
	一般財源	49,304,976	45,961,102	52,100,000	51,746,500	59,600,000	
直接事業費総額		108,104,976	117,561,102	123,000,000	122,446,500	167,000,000	
人件費:人日数	一般職員:人日数	1	1	1	1	1	
	技能職員:人日数						
	臨時職員:人日数						
人件費総額		19,000	19,000	18,700	18,700	18,700	
総事業費計		108,123,976	117,580,102	123,018,700	122,465,200	167,018,700	
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	施設の安定運用のための設備補修費の増(施設の経年劣化による補修箇所、内容の増加)					
	2年度予算と3年度予算の比較	施設の安定運用のための設備補修費の増(施設の経年劣化による補修箇所、内容の増加)及び既存施設の精密機能診断と後年度の大規模改修工事に係る発注支援業務の実施による事業費の増加					

**3 事務事業に関する自己診断(CHECK)**

事務事業遂行上の課題	老朽化した施設に対応した長寿命化計画の策定による整備工事の実施		
市民のニーズ・満足度			
連携事業	ごみ処理施設運転管理(美化センター)		
関連事業			
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり		
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業		
手段の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 3 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある		
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )		
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている		
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		

**4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)**

事務事業実施による成果と課題	引き続き施設の適正管理に努めるとともに、計画的に施設の点検整備を実施しながら施設の延命化を図る		
次年度予算への見直し方針	-		
関連部課等との協議状況	ごみ処理施設整備計画		
関連部課	財政課		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	定期的な施設点検の実施とこれに基づく適切な施設整備を実施するとともに、大規模改修を見据えた施設の精密機能診断を行い改修方法等を検討する		

**5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)**

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	3年度の取り組み方針	施設の精密機能診断を実施し、適切な施設の維持管理を継続実施する	
	4年度以降の展開方針	施設の精密機能診断に基づく設備更新等の整備を行い、適切な施設の維持管理を継続実施する	

部長の確認所見	適切な施設の維持管理を推進するとともに、施設の長寿命化計画と並行して新たな施設整備について検討を進めること
---------	---

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	不燃物最終処分場整備事業	担当部署	市民部 美化センター			
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみ処理施設の整備					▼
対象	不燃物最終処分場					
手段(方法)	浸出液処理施設及び埋立法面等の計画的整備					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	定期点検や施設整備を計画的に実施することにより、適正かつ円滑な廃棄物処理を行うとともに施設の延命化を図る					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	①廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ②赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
その他実施の根拠						
始期・終期	S59	年度	～	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	施設の適切な管理及び施設整備を行うとともに、周辺環境の整備に努める					
単年度目標(達成状況)	30年度実績	適切な管理及び施設整備を実施した			達成状況	100 %
	元年度実績	適切な管理及び施設整備を実施した			達成状況	100 %
	2年度計画	適切な管理及び施設整備を実施する			達成状況	- %
	2年度実績	適切な管理及び施設整備を実施した			達成状況	100 %
	3年度計画	適切な管理及び施設整備を実施する			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)		目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画	
細事業又は実施内容								
施設整備等			1	1	1	1	1	
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算		
施設整備等		1,993,680	1,776,600	1,800,000	1,771,000	14,000,000		
浸出液処理施設整備		1,993,680	999,000	1,800,000	1,771,000	1,779,000		
埋立法面等整備						3,500,000		
原水ゲート整備工事			777,600					
浸出水処理施設再整備基本構想業務						8,721,000		
財源内訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		1,993,680	1,776,600	1,800,000	1,771,000	14,000,000	
直接事業費総額		1,993,680	1,776,600	1,800,000	1,771,000	14,000,000		
人件費:人日数	一般職員:人日数		24	24	24	24	24	
	技能職員:人日数							
	臨時職員:人日数							
人件費総額		456,000	456,000	448,800	448,800	448,800		
総事業費計		2,449,680	2,232,600	2,248,800	2,219,800	14,448,800		
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	整備内容が異なることによる減						
	2年度予算と3年度予算の比較	埋立法面整備工事及び浸出水処理施設再整備基本構想業務の増						

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	適切な施設管理による処分場の延命化
市民のニーズ・満足度	
連携事業	不燃物最終処分場管理(美化センター)
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考うる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 3 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	本事業により施設の適切な整備を実施することができた 引き続き、適切な施設の維持管理と整備により施設の延命化と周辺環境の保持を図る
次年度予算への見直し方針	—
関連部課等との協議状況	不燃物最終処分場整備計画
関連部課	財政課
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	最終処分場の延命化と浸出液処理施設等の適正管理を推進する 埋立残余量を算定のうえ、施設再整備と併せて将来の最終処分場のあり方について検討する
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 埋立計画に従い、法面及び施設の適切な整備を実施する 浸出水処理施設再整備計画を策定し計画的な施設整備を行う
	4年度以降の展開方針 処分場の残余埋立容量調査を行いこれに基づく埋立計画を策定し、施設の延命化を図る 施設再整備計画に基づき施設の適切な維持管理と整備を実施する
部長の確認所見	最終処分場の延命化と施設の適正管理を推進するとともに最終処分場の将来構想について検討すること

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 185

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	資源ごみ集団回収奨励事業	担当部署	市民部 美化センター
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみリサイクルシステムの推進		
対象	登録団体及び登録業者		
手段(方法)	1 登録団体に対し、回収資源ごみ1kgあたり4円を奨励金として交付 2 登録業者に対し、登録団体から引渡しを受けた回収資源ごみ1kgあたり2円を育成助成金として交付(23年10月以降、0円)		
手法(該当番号を記入)	4 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	本事業を実施することにより、ごみの分別、減量、資源化を推進し、資源循環型社会の構築を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	1 赤穂市資源ごみ集団回収奨励金交付要綱 2 赤穂市資源ごみ回収業者育成助成金交付要綱		
その他実施の根拠			
始期・終期	H2 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	資源ごみ集団回収目標量 R3年850トン(毎年、赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)により年度計画値を設定)		
単年度目標(達成状況)	30年度実績	1,082トン	達成状況 77.3 %
	元年度実績	988トン	達成状況 82.3 %
	2年度計画	950トン	達成状況 - %
	2年度実績	727トン	達成状況 76.5 %
	3年度計画	850トン	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
登録団体数		82	82	79	79	76
登録業者数		4	4	4	4	4
回収量(トン)		1,082	988	950	727	850
直接事業費 単位:円		30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
団体奨励金		4,317,300	3,940,900	4,400,000	2,898,400	4,000,000
業者育成助成金						
財源内訳						
国県支出金						
地方債						
その他						
一般財源		4,317,300	3,940,900	4,400,000	2,898,400	4,000,000
直接事業費総額		4,317,300	3,940,900	4,400,000	2,898,400	4,000,000
人件費:人日数						
一般職員:人日数		20	20	20	20	20
技能職員:人日数						
臨時職員:人日数						
人件費総額		380,000	380,000	374,000	374,000	374,000
総事業費計		4,697,300	4,320,900	4,774,000	3,272,400	4,374,000
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	回収量の減少による減額				
	2年度予算と3年度予算の比較	回収量の減少による減額				

### 3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	ごみ減量・資源化推進には住民意識の向上が不可欠であり、常に働きかけが必要である			
市民のニーズ・満足度				
連携事業				
関連事業				
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり			
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄	
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業			
手段の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考える事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある			
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )			
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている			
有効性	目標達成度	76.5 %	理由等所見欄	
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )			

### 4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	本事業は、資源ごみを家庭において一定の保管期間を必要とするため、近年増加している民間回収ボックスへの排出が多く見受けられることから、年間回収量は減少傾向にある
次年度予算への見直し方針	業者育成助成金については、古紙市況等の劇的な変化がない限り引き続き助成しない、また登録団体への奨励金交付については、28外部評価後、見直した結果、奨励金は登録団体の運営に必要な財源であり、団体の回収活動が地域貢献に寄与しているため事業は継続する
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼ 更なるごみの減量・資源化、また地域力強化のため、継続して実施する 民間回収ボックスについては、官民の違いはあるが、ごみの減量・資源化に寄与していると考えられる

### 5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持) ▼	
	3年度の取り組み方針	登録団体の意見を参考にしながら、事業改善について検討する	
	4年度以降の展開方針	市民による廃棄物の再資源化の有効な事業であることから、登録団体の意見を参考にしながら、将来的な改善についても検討を試みる	
部長の確認所見	資源循環型社会構築のため、継続実施とする		

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 186

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常		
事務事業名称	ごみ減量・資源化推進事業	担当部署	市民部 美化センター	
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみリサイクルシステムの推進			
対象	市民			
手段(方法)	1 ごみ減量・資源化啓発(ごみ減量・資源化啓発チラシ・ポスター、広報掲載など) 2 ごみ減量・資源化推進月間における啓発活動の展開 3 生ごみ堆肥化容器等購入助成 4 容器包装廃棄物等の再資源化処理 5 使用済小型家電のリサイクル			
手法(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	本事業を実施することにより、ごみの分別、減量、資源化を推進し、資源循環型社会の構築を図る			
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 2 赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 3 赤穂市生ごみ堆肥化容器等購入助成金交付要綱 4 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律 5 使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律			
その他実施の根拠	ごみ減量・資源化の推進			
始期・終期	年度	～	年度	
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)に基づき、ごみの排出抑制と分別推進、減量・資源化及び適正なごみ処理を図る			
単年度目標(達成状況)	30年度実績	赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)に基づき、ごみの排出抑制と分別推進、減量・資源化及び適正なごみ処理を図る	達成状況	100 %
	元年度実績	赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)に基づき、ごみの排出抑制と分別推進、減量・資源化及び適正なごみ処理を図る	達成状況	98.7 %
	2年度計画	赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)に基づき、ごみの排出抑制と分別推進、減量・資源化及び適正なごみ処理を図る	達成状況	- %
	2年度実績	赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)に基づき、ごみの排出抑制と分別推進、減量・資源化及び適正なごみ処理を図る	達成状況	100 %
	3年度計画	赤穂市一般廃棄物処理計画(実施計画)に基づき、ごみの排出抑制と分別推進、減量・資源化及び適正なごみ処理を図る	達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
ごみ処理量(トン)		18,162	17,920	17,560	17,466	17,325
生ごみ処理機/堆肥化容器(基数)		7/18	6/18	8/20	6/13	8/20
容器協リサイクル量(トン)		359	368	362	367	355
小型家電リサイクル量(kg)		2,817	3,250	2,500	3,607	2,500
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
ごみ減量・資源化推進事業(H26.10～小型家電含)		352,854	310,245	281,000	252,698	407,000
生ごみ堆肥化容器等購入助成		178,500	159,900	220,000	133,400	220,000
容器包装廃棄物再資源化処理委託		134,769	151,392	187,787	156,787	173,000
計		666,123	621,537	688,787	542,885	800,000
財源内訳	国県支金					
	地方債					
	その他	377,861	156,837	300,000	152,655	200,000
	一般財源	288,262	464,700	388,787	390,230	600,000
直接事業費総額		666,123	621,537	688,787	542,885	800,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	240	240	240	240	240
	技能職員:人日数	24	24	24	24	24
	臨時職員:人日数	12	12	12	12	12
人件費総額		5,001,600	5,026,800	4,953,600	4,953,600	4,953,600
総事業費計		5,667,723	5,648,337	5,642,387	5,496,485	5,753,600
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	ごみ減量・資源化推進事業費の縮小により減額				
	2年度予算と3年度予算の比較	ごみ減量・資源化推進事業費の縮小により減額				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	ごみ減量・資源化推進には住民意識の向上が不可欠であり、常に働きかけが必要である
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	更なるごみの減量・資源化を推進するため、効率的で効果的な取り組みが必要である
次年度予算への見直し方針	ごみ減量・資源化推進には住民意識の向上が不可欠であり、有効的な働きかけを検討する
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼ 対象者を絞り込んだ、ごみ減量・資源化推進啓発活動を実施していく (広報誌、ホームページへの掲載のほか、LINEを活用し、年齢層に沿った啓発活動の実施を検討)
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 ごみの減量・資源化を推進するため、継続して住民意識の向上に寄与する事業に取り組む
	4年度以降の展開方針 ごみの減量・資源化を推進するため、継続して住民意識の向上に寄与する事業に取り組む
部長の確認所見	資源循環型社会構築のため、更なるごみの減量化と資源化を推進する

# 令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 187

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資	<input checked="" type="checkbox"/> 臨時	<input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	資源ごみ持ち去り防止対策事業	担当部署	市民部 美化センター		
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-地球環境にやさしいまちをつくる-ごみリサイクルシステムの推進 ▼				
対象	市民				
手段(方法)	赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例により、持ち去り禁止対象物の収集及び運搬を禁止し、禁止命令違反者には20万円以下の罰金を科す				
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金	
意図(ねらい)	市民の安全安心なごみ出し並びにごみステーションの清潔を保持するとともに、市による一般廃棄物の適正な処理責任を果たす				
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等	赤穂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例				
その他実施の根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
始期・終期	24	年度	～	年度	
到達目標(根拠数値・数値又は文章)	持ち去り行為者による持ち去り行為が発生しないこと				
単年度目標(達成状況)	30年度実績	監視パトロールの実施、指導・警告・告発の実施		達成状況	100 %
	元年度実績	監視パトロールの実施、指導・警告・告発の実施		達成状況	100 %
	2年度計画	監視パトロールの実施、指導・警告・告発の実施		達成状況	- %
	2年度実績	監視パトロールの実施、指導・警告・告発の実施		達成状況	100 %
	3年度計画	監視パトロールの実施、指導・警告・告発の実施		達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
巡回パトロール実施		定期巡回実施	定期巡回実施	定期巡回実施	定期巡回実施	定期巡回実施
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
資源ごみ持ち去り防止対策事業		580,403	554,802	703,031	647,082	661,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	580,403	554,802	703,031	647,082	661,000
直接事業費総額		580,403	554,802	703,031	647,082	661,000
人件費:人日数	一般職員:人日数					
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		0	0	0	0	0
総事業費計		580,403	554,802	703,031	647,082	661,000
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	職員への通勤手当の支給による増額				
	2年度予算と3年度予算の比較	職員への通勤手当の距離区分の変更による減額及びパトロール隊連絡用携帯電話の廃止に伴う減額				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	状況により、パトロール体制等の見直しを更に検討する
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
手段の妥当性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他( )
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	状況により、パトロール体制等の見直しを検討する
次年度予算への見直し方針	状況により、パトロール体制等の見直しを検討する
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	状況により、パトロール体制等の見直しを検討する
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他( )
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 パトロールの実施状況により、パトロール体制等の見直しを行う
	4年度以降の展開方針 パトロールの実施状況により、パトロール体制等の見直しを行う
部長の確認所見	資源循環型社会構築のため、更なるごみの減量や分別、資源化を推進するとともに、継続してごみの適正な処理責任を果たす